

ツノナシオキアミ資源調査

木村 大*

1. 調査目的

岩手県から茨城県まで産業的規模で漁獲されているツノナシオキアミの青森県沖における資源分布状況を把握し、着業の可能性を検討する。

本年度は水平的な分布状況を把握するため、沖合域までの分布調査を実施した。

2. 調査方法

水平分布状況を見るため、試験船「開運丸」（299.56トン、1600PS）により4月8～11日の期間、北緯41度線及び40度32分線上を東経147度までの範囲で、プランクトンネットによる採集（0～150mの鉛直曳き）及び各層水温を観測した。

3. 調査結果及び考察

1993年4月8～11日に北緯41度線（出戸線）及び40度32分線（鮫角線）において海洋観測及びプランクトンネットによる採集を実施した。

調査時期の表層水温分布（図1）を見ると、調査海域では沿岸に津軽暖流系水が東経142°以西に見られるが、それよりも沖合では水温が5℃以下の親潮系水が広く分布していた。

出戸線及び鮫角線における水温鉛直断面図（図2、3）を見ると、東経142°より沿岸には津軽暖流系水が分布し、その沖合は親潮系水が見られ、東経145°以東の表層には5℃台の暖水域が見られた。

オキアミ目の出現がみられた地点は出戸線では5調査点中沿岸のS T. 22を除く4調査点で出現し、鮫角線では15調査点中S T. 18、16、13、12、A、B、C 7調査点で出現しており、広範囲に分布が見られた。

出戸線の出現状況から考えると、鮫角線で津軽暖流系水が見られる東経143°以西での分布が予測されたが、2調査点だけの出現であった。オキアミは昼間底層に分布し、夜間浮上する日周移動が知られており、このため昼間の観測となった鮫角線で採集されなかったものと考えられた。

*現青森県漁業振興課

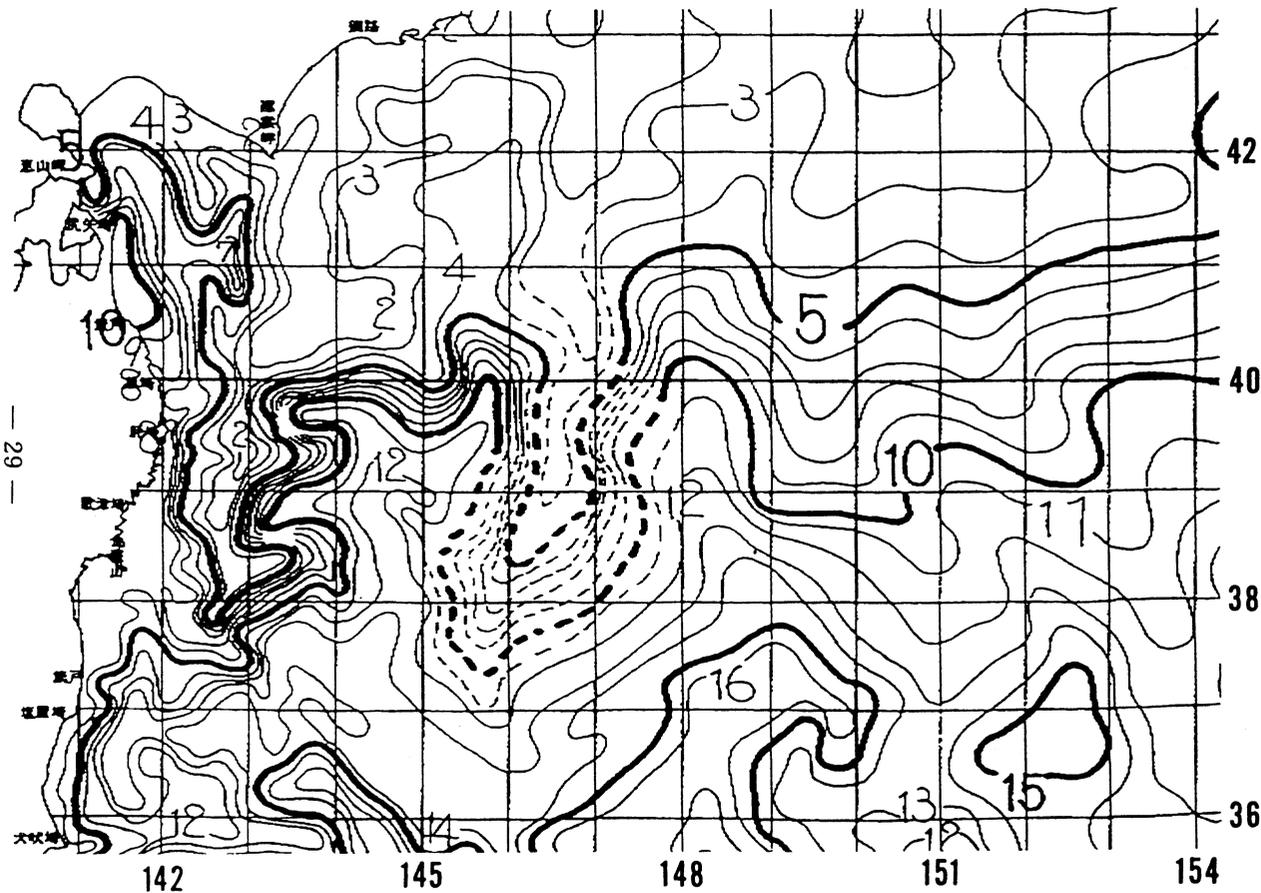


図1 表層水温分布

Euphausiacea の出現	●	●	●	●
ST. No.	22	23	24	25
観測時刻	17:28	18:50	19:55	21:28
			23:00	

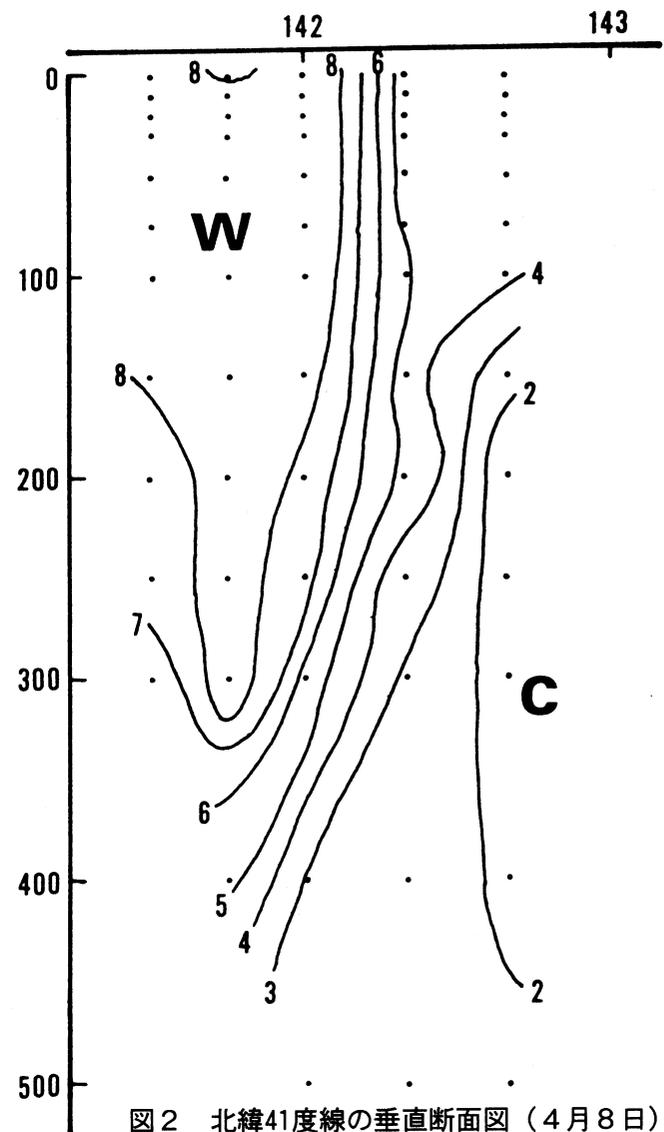


図2 北緯41度線の垂直断面図 (4月8日)

Euphausiacea
の出現

ST. No.	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	A	B	C	D	E
観測時刻	05:11	05:44	06:47	08:10	12:25	14:05	16:02	17:40	19:13	20:45	23:30	01:42	03:52	06:06	08:17

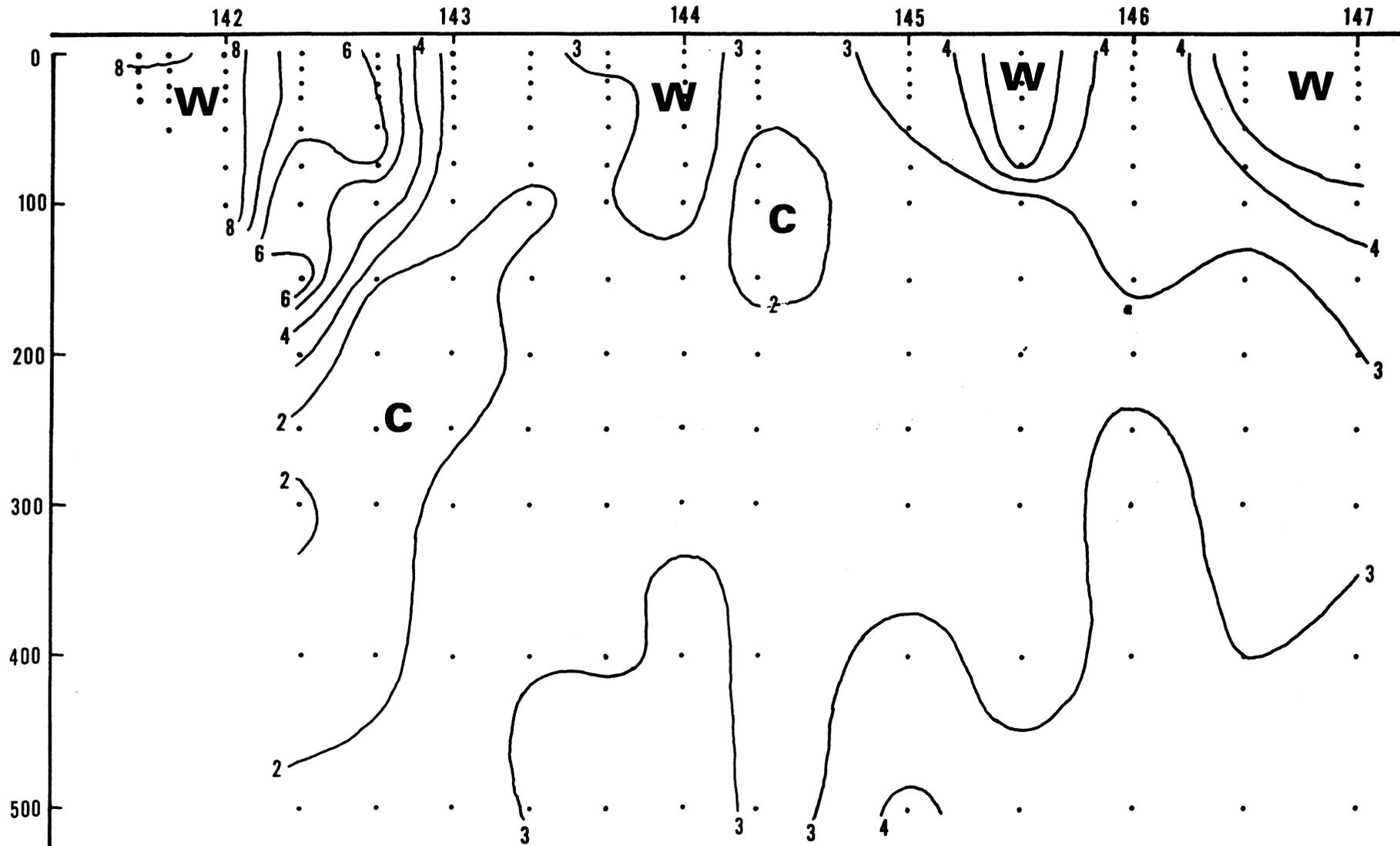


図3 北緯40度32分線の垂直断面図(4月9日-11日)